

## 春季総体 大会規定および申し合わせ事項

- ・2016年度（公財）日本サッカー協会競技規則を適用する。
  - ・登録は、選手18名以内、指導教員3名以内、外部コーチ1名、合計22名以内とする。（ただし、学校長についてはベンチ入りができる。）転出、けが、病気による場合は登録メンバーの変更を認める。なおその場合、大会1日目の第1試合までに原本（校印が押されているもの）を再度本部に提出すること。それ以降の大会期間中の変更は認めない。ベンチ入りできる者についても上記の22名以内とする。
  - ・試合開始30分前には、監督はメンバー表を2部準備し、本部に提出する。その際、ユニフォームを決定する。（ただし、最終決定は主審が行う）
  - ・飲水タイム、クーリングブレイクの有無については、天候等を考慮して審判が判断する。飲水タイム、クーリングブレイクをとる場合は、両チームに通告し、前後半各1回程度とする。
  - ・ベンチは、プログラム記載対戦表の左側のチームがコートに向かって左側のベンチに入ること。
  - ・試合時間は50分ゲームとする。その際、アディショナルタイムの表示は行なわない。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、原則5分間とする。インターバルの5分終了同時に後半を開始する。同点の場合は延長戦なしでPK方式により、次回戦進出チームを決定する。なお、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
  - ・飲水タイム、クーリングブレイクとウォーミングアップのみ交代要員がベンチから出ることを認める。
  - ・選手交代については、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、最大7名までの交代が認められる。（一度退いた競技者は再び出場することはできない）交代手続きは、本部で行う。
  - ・交代要員は、出場選手と見分けがつくようなものを着用する。
  - ・大会期間中、2度の警告を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。退場処分を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。
- ※ ただし、暴力行為等による退場処分を受けた者については、規律・フェアプレー委員会（専門委員長・副専門委員長で構成）で次以降の試合の出場を検討する。
- ・ユニフォーム、パンツ、ストッキング、背番号は、申し込み用紙に記入されたものに統一すること。ユニフォーム、パンツ、ストッキングは異色のものを2種類用意する。
  - ・試合球は認定5号球を使用する。
  - ・合同チームの条件
    - (1) 足りないチームAから足りているチームBへ参加
    - (2) 足りない複数チームでの合同
  - ・会場到着後、指導教員は直ちに本部へ連絡をとること。